

「学びの森」の誕生

安芸高田市立高宮小学校

安芸高田市立高宮小学校（高松昌子校長）は、安芸高田市の北部に位置する高宮町にある8学級、児童数87名の学校です。令和2年度4月に、来原小学校と船佐小学校が統合して開校した新しい学校です。高宮町は、島根県との県境に位置し、江の川の源流となる清流域であり、中国山地の山々に囲まれ田園風景が広がる豊かな自然環境です。また、近くには、音楽のイベントが開催される香六ダム、古来より伝わる神楽、国の重要無形民俗文化財「安芸のはやし田」など、伝統文化が盛んな地域でもあります。本校は、伝統文化と豊かな自然、地域の温かさに囲まれた地域とともにある学校なのです。

これまで来原小学校と船佐小学校ともに、緑の少年団を構成し、その活動は、総合的な学習の時間や理科、生活科、宿泊体験活動などの地域を学び舎とした学習や、地域の方と連携した花いっぱい運動などの活動を継続して行ってきました。地域の皆さまとともに自然を大切にしている教育活動を推進して行くことができました。

それぞれの地域の方の温かいご支援を頂きながら進めてきた緑を大切にする活動を、新しく開校した高宮小学校においても引き継ぎ、子どもたちの豊かな心の育ちを願い、緑の少年団活動は継続させていただくこととしました。

今年度も地域の皆さまとの苗植え、保護者・地域の方との校内環境整備を行い、学校緑化や自然を大切に、守り続ける活動に取り組んでいます。

そして、これまでの両校の長年の活動を基に、この度、学校環境緑化モデル事業の指定を受けることができました。この学校環境緑化モデル事業は、全国のローソン店頭で設置されている「緑の募金」に寄せられた募金を活用して毎年実施されています。

そこで、本校は開校を記念して、安芸高田市の木と花「ソメイヨシノ」と「アジサイ」を校庭に新たに植樹し、他の植栽の剪定を行い、子どもたちの「学びの森」を整備することができました。統合校である本校は、船佐小学校の校舎を改築しておりますので、校庭には、これまでの緑化活動の成果として植えられてきたサツキ、ツゲ、カイツカイブキ、モミジ、マツ、ヒイラギなどの多くの樹木が植えられています。



その中でもとりわけ、2本のカイツカイブキは、校舎2階の屋根にまで達するほどに大きく成長し、数多くの子どもの成長を見守ってきました。開校に併せて伐採という話もあったと聞きましたが、北部に位置する地域での豪雪などの艱難にも耐え、大樹へと成長した木を伐ることはできないと判断されました。



幸いなことに、この事業指定を受けて、2本のカイツカイブキをはじめ、多くの植栽を剪定していただくことができました。地域の方からも「すっきりして良くなりましたね。」と多くのお声をお寄せいただきました。このように地域の学び舎の環境が整うことを地域の皆さまも温かく見守って下さっていたのです。



この事業を通して、地域の皆さまの新しい学校への思いを知るとともに、新しい学校への熱い期待をしっかりと受けとめて教育推進にまい進していかなくてはならないと思いを強くいたしました。

この事業の報告として、先般、実施しました完成記念式典は、新型コロナウイルス感染症予防のためオンライン開催とさせていただきました。改めまして、このような事業をさせていただきましたことを、株式会社ローソン様、広島県みどり推進機構様をはじめ多くの皆さまに心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

緑豊かな本校で学ぶ子どもたちが、それぞれの夢をめざし成長していく姿をこの学びの森とともに見守り、応援をしていきたいと思っています。